

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年1月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800384
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホームやまぶき
所在地	鹿児島県出水市上鯖淵4-8-1 (電話) 0996-63-4176
自己評価作成日	平成27年11月27日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年12月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、出水駅の近くにあり、介護付有料老人ホームを有する3階建て施設の2階部分である。敷地内は、広々とした散歩コースや園芸作業もできる環境にある。やまぶきの理念である「一緒にふれあい笑顔のある家庭的な暮らし」をモットーに、活かした日常生活を入居者様、職員と共に行い、季節の懐かしい行事や外出・ドライブにも力を入れ、ホームに閉じこもらない生活の支援をしている。入居者様ご家族に、満足して頂けるよう「看取りの看護」に至るまでの協力医療機関との連携も確立されている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所の近隣にはコンビニエンスストアや駅や商店街も有り利便性にも恵まれた環境にある。同敷地内の母体法人系列の介護付有料老人ホームも有する建物の中に有り、災害時や諸行事も連携を取り双方での協力体制が出来ている。広い敷地内では、散歩コース・園芸作業を楽しみ、また行事毎の外出・ドライブ等、ホームに閉じこもらない生活が送れている。管理者は開設以来、地域との交流にも力を入れ災害時の協力依頼の声かけも出来ている。災害避難場所の提供も有り、協働の関係も構築され地域にも根付いて来ている、グループホームである。管理者や職員は開設9年が過ぎ10年目を節目に更なる利用者へのケアの見直しを検討している。管理者や職員から、利用者一人ひとりの変化に気付き、その思いを感じとりながら笑顔のある生活ができる様にケアに努め、さらにサービスの質の向上に意欲が感じとられるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	独自の理念を掲げ、毎朝の朝礼時に出勤職員で唱和。日々のケアにつながるよう入居者様を交え取り組んでいる。	設立当初からの理念を玄関・ホール・事務所、目のつく所に掲示している。朝礼や会議で唱和し、全員で理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入、地域の夏祭り等の行事に参加、有線設置し地域情報を知ることによって交流を図っている。	有線放送を利用し、地域の方にホームの行事を案内し、参加してもらったり、ボランティアや体験学習の受入れなど、積極的に相互の交流を持てるような努力がみられ、地域の一員として交流ができている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議を通じ、自治会長・民生委員の方と定期的に話し、家族が遠方にいる方への対応などの相談を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	状況報告はもちろんのこと、行事への参加も呼びかけ参加して頂き、現在の状況を目にして頂いている。	2ヶ月毎に開催し、自治会・行政・家族やホームの職員が参加し、事業所の活動報告や関係機関からの意見要望を聞きサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	やまぶきたよりを届けたり、運営推進会議のも2か月に1回出席して頂き、相談等があれば、その都度行き来する体制はとれている。	市の福祉課と常に連絡を取り合っている。地域包括センターへも連絡を取り、情報交換を行っている。運営推進会議にも参加をもらうなど協力関係作りにも積極的に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	安全・身体拘束委員会を中心にマニュアル作成や学習会へ参加することにより、職員がお互いに注意しあえる環境作りに取り組んでいる。	法人全体の研修会へも参加している。職員は利用者が安全に生活出来るように取り組んでいる。日中は玄関には施錠せず、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スピーチロックは、日々の生活の中で特に注意を払い、指導を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在に至るまでに成年後見制度を活用される方はいない。研修参加をした職員より伝達学習会があり、参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約・解約については、入居時に重要事項を説明し、不安ならぬよう十分な説明を行い納得してもらっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者様担当職員が中心となり、表情や対話で、不安や不満がないか探り、ご家族様からは面会時に気軽に話し合える雰囲気づくりに努め、出された意見は職員で話し合い反映させている。</p>	<p>年1回の家族会や面会時に意見・要望の聞き取りをしている。遠方の家族には電話でのやり取りで聞き取りし、運営やケアに反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の部署会議や毎朝の朝礼時に意見交換を行い、例えば、職員の食介用の椅子を購入した日常的に相談事など個別に聞き適切にアドバイスをしている。</p>	<p>毎月の会議で職員の意見や提案を聞いている。管理者は職員の個別の相談にも応じ、母体法人へ相談し解決策をとり、働きやすい環境作りに努め運営やケアに反映させている。職員の資格取得も支援している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>役員会で勤務状況・勤務態度等日々の現状報告し、検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修は、学習委員会が中心となり案内、内容に応じ参加をしている。また、内部研修として、新人・中堅・リーダー研修があり、参加して頂いている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に加入し、講演会やセミナーに参加したり、会社の姉妹施設との研修の場での交流、お互いに学び質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居事前に生活歴を把握し、入居後は常に傾聴の姿勢や受容、待つ姿勢・聞く姿勢で信頼関係を築き安心した生活を送れる環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に十分な時間を設け、不安や疑問を軽減できるよう努め入居後も面会時に状況報告をこまめに行ったり、又、やまぶきたよりにて安心して頂くようなコメントを記入している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様とご家族様の意向をしっかり把握し、安心してサービスが受けられることができるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護にならないよう、個々の得意分野を見出すことにより、活動につながり、生きがいや達成の喜びを共感するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族からの要望は、可能な限り取り入れ、行事などに参加して頂き、今の状況を理解・把握して頂くこともあり。外出・受診の同行の協力を得ている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個人プランを取り入れたり、知人等の面会が継続するような雰囲気作りに努めている。	利用者からの要望があればなじみの美容室などにも連れて行っている。家族が同行する時もあるが、本人が希望すれば買い物などなじみの場所への外出支援は日々行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有のスペースでの個々の居場所を確保し、会話の難しい入居者様が孤立しないよう、職員が間に入り、良い関係が築けるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	併用施設へ入居した場合は、入居者様と面会に出かけるようにしており、ご家族様も気楽に声をかけたり、やまぶきへ訪問できるような雰囲気作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	月1回のモニタリングを通し本人のおもいを伺うも難しい為、日々の会話やその日の表情を察して言葉にできない思いを代弁できるようモニタリングに残すよう努め、相談検討している。	利用者一人ひとりの思いを聞いているが、困難な場合には表情や家族からの情報を得て、利用者の思いや希望をくみ取り、気持ちに寄り添えるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご家族様に生活歴など、これまでの暮らしが把握できるようフェイスシートに記入。環境作りなどに取り入れている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	なるべく一日のリズムは保つようにしているが、日々の生活の中、表情の観察・バイタルチェックを行い個々の状態に合わせて過ごせるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の会議等が出た個々の入居者様の状況・気づきを意見交換し、今後の方向性の確認、共有をし、本人家族様の意見を反映した介護計画を作成している。	モニタリングは月に1回実施している。プランは本人・家族などの意見を聞き取り、現状に即した介護計画を作成している。状態の変化があれば随時見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のファイルを作成し、関わった職員が記入することにより、細かい情報が共有でき、モニタリングにも活かされている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の身体状況により、併用施設にある特殊浴・個浴・平行棒など使用している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設行事への招待、ボランティア、防火訓練、運営推進会議への参加、他の事業者の講話等参考に支援に活かしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族が納得したかかりつけ医となっている。定期的な往診・受診があり、往診受信前には状態の報告をファックスし、情報の共有に努め、良好な関係が受けられるよう支援している。	希望のかかりつけ医をのぞまれる方には受診支援をしている。2週間毎の定期受診や緊急時を含む24時間体制の医療連携のとられている協力医療機関に変更される家族もいる。他科受診には家族や職員が同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々のケア時の気づきは看護員へ、その都度報告。看護員が中心となり健康管理に努めており、協力医との連携も密に取れている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	週に数回の面会を行いその都度病院関係者から状況報告受け、早期の退院に向け情報交換を行っている。本人との会話・洗濯・おむつの補充なども行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化に伴う対応の趣旨を説明。状態変化に従って主治医の診断を踏まえてご家族へ伝え、看護・介護計画を作成し、ご家族へ同意書を頂いている。全スタッフで統一した緩和ケアに努めており、状態の変化がみられるたび、家族・主治医・管理者・看護員で密な話し合い状態の把握に努め、ご家族の協力を得て取り組んでいる	終末期の方向性についてホームの指針を説明、同意書をかわしている。身体状況の段階ごとの変化に応じ、家族や主治医の意向を確認しながら対応の方針を共有している。すでに看取りの経験があり、ホームで出来る終末期における最大限の支援を実施し、取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	学習委員会が中心となり月2回の学習会に参加したり、部署会議を利用し事故発生時の対応及び報告の流れを説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回消防署立ち合いのもと、昼・夜間想定 of 全体避難訓練を実施・合わせて緊急連絡網訓練も実施している。</p>	<p>夜間想定も含め年2回、消防署の指示のもと全体での訓練を実施している。地域とは有線を通じ周知を図っている。災害を想定しての備蓄・備品も確保済みである。また地域の避難場所としての体制作りも協力している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	会社全体で接遇への取り組みを行っており、学びの場も設け、職員間での注意し合う環境作りに取り組んでいる。	職員は研修を受け内容を共有している。名前の呼び方や話し方には気を配っている。職員間でも注意し合い、プライバシーを損ねない対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	待つ姿勢、聞く姿勢を常に持ち疑問形での声掛けを職員へ周知し自己血帝ができるような取り組みを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、理念に沿ったケアを念頭に、朝礼時職員間で業務優先にならないような取り組みを話し、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身なりには常に気を配りをし、行きつけの美容室への外出や訪問美容院を利用して頂き、髪染に関しては希望者に定期的に実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	プランに沿って実際に下ごしらえや後片づけをされたり、誕生日に好きなメニューを聞き取りし提供したりという取り組みを行っている。	利用者の希望や能力を活かし出来ることは手伝ってもらっている。家族による外食支援もある。利用者の好みや、季節感のある食事作りに心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分・食事の摂取量は、毎日チェック把握し、バランスのいいメニュー作りに努め、入居者様に応じた量の配慮をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	力量に応じて、食後の歯磨きを行い、困難な方には、ガーゼにて清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にてパターンを把握し、シグナルなど見逃ず、トイレでの排泄を大切に、失敗しないよう支援している。	排泄チェック表を作成しており個々のパターンを把握して、動きやサインを職員間で共有し適切な声かけで自立に向けたトイレでの排泄支援を行っている。失禁時などにはさりげない対応を心掛けている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、10時に牛乳の提供をし、排便状況の悪い方には飲むヨーグルトの提供も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルの状況や精神の状況を考慮したうえで声掛けを行い、身体の状況により、併施設設での特殊浴を利用したり安全面に考慮し柔軟な対応を支援している。	毎日でも入浴は可能である。入浴をためらう利用者には時間を変更するなどタイミングに合わせた入浴を支援している。また時には気分を変えて入浴剤を使って楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の身体の負担を見極めながら休んで頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服用の情報をファイルにとじ、いつでも職員が確認できるようにしており、薬の変更時は連絡委ノートに記載し、情報の共有に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力に応じ、茶碗拭き・洗濯たたみ・下ごしらえ・茶っば入れ等の役割を見出し活かした日常生活を支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気がいい日などドライブに出かけたり、毎日の日光浴や玄関先でのお茶会を行っている。地域行事の夏祭りやマラソン大会などにも、ボランティアやご家族の協力を得て外へ出ている。	天候を見てドライブや近隣の店へ買い物にも出かけている。希望があれば墓参りにも出かける。日常的には日光浴や散歩での外出支援をおこなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数名の方が小銭程度の現金を自己管理されている。小口現金としてご家族様から預かり、必要なもの、希望されているもの、外出時等に使わせていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>遠方のご家族様からは、定期的なお電話で入居者様と会話していただいたり、こちらから本人様要望にて連絡するときもあった。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は、広々とし、食事の準備の音・匂いなど生活感を感じ、好きな場所でくつろぐことができ、季節に応じた環境作りにも取り組んでいる。</p>	<p>広々とした共有空間には、行事の写真を多く撮り、壁に貼ったり、利用者の作品も適度に飾られている。畳のスペースにはこたつが置かれ、季節感を出し、自由につかってもらっている。利用者が居心地よく過ごせる工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファをセッティングし、好きな場所で過ごせるような環境作りを提供している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時より、ご家族さんへ入居者様が以前より使用していた馴染みの家具や使い慣れた茶碗・はしなど持ってきていただけるよう声かけをしている。	利用者が今まで使っていた家具を持参し、部屋の壁には家族の写真や自分の作品を飾っている。本人が居心地よく過ごせるよう家族や職員の工夫がみられる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ADLに合わせ、ソファの位置や固さ歩行器までの位置に配慮し、障害がない環境作りに取り組んでいる。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない